

件名) 常磐自動車道 宮田川橋床版取替工事

番号	質問箇所	質問事項	回答
1	設計図面1/165 数量総括表 設計図面84/165 設計図面87/165	数量総括表8-(3) 鉄筋A3 (E) 場所打ち床版(重ね継手)の数量について、径間P2-P4の数量が1.908tの記載ですが、設計図面84/165ではD16が0.415+0.448=0.863t、設計図面87/165ではD16が0.405+0.450=0.855t、合計1.718tとなり合致しません。どちらが正でしょうか。ご教示願います。	ご指摘のとおり設計図面に誤りがありました。正しくは、A3 (E) の数量は以下のとおりとなります。 ・宮田川橋 下り線 A1~P2 2.115 t ・宮田川橋 下り線 P2~P4 1.958 t ・宮田川橋 下り線 P4~A2 1.407 t 合計: 5.480 t 後日交付図書を訂正いたします。
2	設計図面1/165 数量総括表 設計図面84/165 設計図面87/165	数量総括表8-(3) 鉄筋A3 (E) 場所打ち床版(機械式継手)の数量について、径間P2-P4の数量が1.882tの記載ですが、設計図面84/165ではD13が0.113t、D19が0.922t、設計図面87/165ではD13が0.114t、D19が0.923t、合計2.072tになり合致しません、どちらが正でしょうか。ご教示願います。	ご指摘のとおり設計図面に誤りがありました。正しくは、B2 (E) の数量は以下のとおりとなります。 ・宮田川橋 下り線 A1~P2 1.873 t ・宮田川橋 下り線 P2~P4 1.832 t ・宮田川橋 下り線 P4~A2 1.244 t 合計: 4.949 t 後日交付図書を訂正いたします。
3	設計図面1/165 数量総括表	8-(3) 鉄筋 B1 (E) と鉄筋 B2 (E) の機械式継手の種類は摩擦圧接ネジ継手の打継用で宜しいでしょうか。ご教示願います。	機械式継手の種類に指定はございませんので、設計図書に基づきお考えください。
4	設計図面45/165 設計図面94/165 設計図面135/165 伸縮装置数量計算書	11-(2)伸縮装置の数量内訳について、樹脂塗装鉄筋と機械式継手の数量は、設計図面45/165及び94/165及び135/165の数量で、鋼製くし型伸縮装置とシーラ材とバックアップ材と止水ゴムパッキン・専用ジャバラ管とゴム管の数量は、設計業務成果の伸縮装置数量計算書の数量で宜しいでしょうか。違う場合は数量をご教示願います。	そのとおりお考えください。
5	設計図面45/165 設計図面94/165 設計図面135/165 伸縮装置数量計算書	11-(2)伸縮装置の数量について、無収縮モルタル及びステンレス製壁高欄塞ぎ板の質量が設計図面及び伸縮装置数量計算書に記載がありません。ご教示願います。	無収縮モルタル及びステンレス壁高欄塞ぎ板については、伸縮装置詳細図に規格・寸法が記されていますので、設計図面に基づき数量を算出してください。
6	特記仕様書 26-10-1 コンクリート構造物取壊し (Type A)	コンクリートカッターによる切断の作業内容は、切断延長231.35m (A1~P4延長)、切断深さ20cmで宜しいでしょうか。ご教示願います。	設計図面より、深さ方向(鉛直方向)の切断とし、設計図面に記載の切断延長でお考えください。
7	設計図面26~28/165 設計図面114~118/165 仮設桁工数量計算書p19	仮設床版ブラケットの鋼桁孔明方向ですが、設計図面では全て水平・下向き、材質はSM490の記載ですが、設計業務成果の仮設桁工数量計算書では上向きがあります。どちらが正なのかご教示願います。	設計図面のとおりとお考えください。
8	設計図面75/165 仮設桁工数量計算書p19	仮設縦桁の鋼桁孔明方向ですが、設計図面では全て水平・下向き、材質はSM490の記載ですが、設計業務成果の仮設桁工数量計算書では材質がSS400があります。どちらが正なのかご教示願います。	設計図面のとおりとお考えください。
9	設計図面26~28/165 設計図面114~118/165	仮設床版ブラケット工の防錆塗装の素地調整について、R5年構造物施工管理要領II-112によりますと、素地調整の種類はG-aとなっており、これは工場製作の原板の素地調整である3種ケレンCで宜しいでしょうか。ご教示願います。	施工管理要領に記載されている素地調整G-aとは、1種ケレンとお考えください。
10	設計図面26~28/165 設計図面114~118/165	仮設床版ブラケット工の防錆塗装の工場塗装(一般外面及び高力ボルト接合部)について、R5年構造物施工管理要領II-107によりますと、下塗り1層、無機ジンクリジッチペイント、スプレー塗りとなっております。全工場塗装ではなく、この考えで宜しいでしょうか。ご教示願います。	仮設床版ブラケットの工場塗装については、構造物施工管理要領(令和6年7月)II-107 表3-63及び表3-65(記号C5)の規定のとおりとお考えください。
11	設計図面26~28/165 設計図面114~118/165	仮設床版ブラケット工の防錆塗装の現場塗装(高力ボルト頭部)について、土木工事積算基準によりますと、鋼橋仮設工事における新橋継手現場塗装の素地調整、塗装の土木工事標準単価を適用するとなっております。この考え宜しいでしょうか。ご教示願います。	そのとおりお考えください。
12	設計図面26~28/165 設計図面114~118/165	仮設床版ブラケット工の塗替え塗装について、R5年構造物施工管理要領III-3によりますと、素地調整4種、下塗り2層、変性エポキシ樹脂塗料、ハケ塗り、中塗り及び上塗り、ふっ素樹脂塗料、ハケ塗りとなっております。又、研削材及びケレンかすの回収・積込・運搬・処分費を計上するとなっております。この考えで宜しいでしょうか。ご教示願います。	仮設床版ブラケットの撤去箇所における塗替え塗装は、特記仕様書26-18-4(3)に記載のとおりとなります。 なお、仮設床版ブラケットの設置前に行う、既存塗膜調査、塗膜除去工(1種ケレン)については率計上項目に含まれます。